

学習内容報告書 フォーマット

学校名	益田市立豊川小学校
授業者	富澤 恵美

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「発見！豊川」

1-2. 学年

5年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会、理科、学活

1-4. 単元の概要

「前期」

- ・わたしたちの国土について調べる。
- ・世界の中の国土、日本の地形の特色について学ぶ。
- ・わたしたちの生活と食料生産について調べる。
- ・水産業について学ぶ。
- ・海とわたしたちの生活とのつながりについて考える。
- ・校外学習にて海の生き物と触れ合う。（水族館の見学）

◆日本が海に囲まれた島国であることを確認し、海の生き物について興味をもつ。

「前期・後半～後期」

- ・益田の名産品や益田ブランドについて興味をもつ。
- ・ゲストティーチャーを招き、ハマグリを観察を通して益田の名産「鴨嶋ハマグリ」について調べる。
- ・海岸清掃からゴミを種類ごとに分別し、自分たちの生活を振り返りながら課題を見つける。
- ・わたしたちの生活と環境について調べる。

◆より良い自然を守るために必要なことについて調べる。

「後期」

- ・自然を守るための活動をするにはどのような取り組みをすればよいか考える
- ・地域など、自然を守るためにしていることについて調べる。
- ・私たちの生活と森林の学習について調べる。
- ・自然を守るための活動「森で海を救おう林業事業」を行う。
- ・体験したことを通して、感じたことをまとめ表現する。

◆より良い自然を守るために自分たちが出来ることについて表現する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

・海とわたしたちの生活の関係について知り、活動を通して海の生き物や海に興味をもち、そこから課題や疑問を見つける。

・海岸清掃やごみの種類について知る活動から自分たちの生活について振り返り、課題を見つける。

・収集した情報を比較・分類・関連付けて相手を意識して表現する力を育てるとともに、自然やそれを取り巻く人々と進んで関わりを持ち、より良い自然環境を作っていこうとする態度を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p>「前期」 体験活動から課題を見出す。 専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。 生き物と水質との関わりについて調べる。 学習のまとめをし、これからの課題を見つける。 自分と異なる考えや意見に気づく。 追求していく課題を見つける。</p> <p>「前期・後半～後期」 体験活動から課題を見出す。 課題解決に向けて、協力して取り組んでいる。 専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。 収集した情報を基に、特徴を見出す。 学習のまとめをし、これからの課題を見つける。 追求していく課題を見つける。</p> <p>「後期」 課題を設定し、解決方法を考える。 情報を収集する。 専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。 自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。 探究的な活動を通して、自分にできることについて気づき、実践しようとする態度。</p>
--

1-7. 単元の展開（全60時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
6	<ul style="list-style-type: none"> 地球と私たちの暮らしについて学ぶ。(理科) 世界の中の国土について学ぶ。(社会) 	教科書の資料、動画等を活用し世界の現状を知る。
3	<ul style="list-style-type: none"> 国土の地形の特色について考える。(社会) 	地図帳を使い日本や島根県の場所、食の学習ノートから島根県の特産・名産品について調べる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 水産業について課題を見つけ、調べる。(社会) 	日本の漁業について調べ、魚を捕るための工夫、今の漁業が抱える課題について調べる。 漁の様子やせりの様子などを動画で確認する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習にて海の生き物と触れ合う。 	生き物が住みやすい環境について学ぶ。 体験活動から課題を見出す。 外部講師：アクアス飼育員
5	<ul style="list-style-type: none"> 益田の名産品や益田ブランドについて興味をもつ。 ハマグリを観察を通して益田の名産「鴨嶋ハマグリ」について調べる。 	海岸清掃やハマグリを観察を通して海の現状を知る。 専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。 外部講師：NPO 法人アンダンテ 2 1 (2名)

5	・生き物のくらしと環境	食べ物を通した生き物のかかわり（空気や水）について理解する。
6	・わたしたちの生活と森林について考える。（社会）	森林と海、森林と川のつながりについて知り、酸素や二酸化炭素とのつながりも理解する。
8	・より良い自然を守るために必要なことについて考え話し合う。	学習を通して自分の考えをもち話し合う。
4	・自然を守るための活動するにはどのような取り組みをすればよいか考える。 ・地域など、自然を守るためにしていることについて調べる。	課題を設定し、解決方法を考える。
3	・自然を守るための活動「森で海を救おう林業事業」を行う。	自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。 専門の人に話を聞き、必要な知識を得る。 植林の活動を行う。 外部講師：益田市役所環境衛生課の方、林業の方
2	・体験したことを通して、感じたことをまとめ表現する。	自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。
6	・より良い自然を守るために自分たちが出来ることについて表現する。	探究的な活動を通して、自分にできることについて気づき、実践しようとする。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・ゲストティーチャーを招き、ハマグリを観察を通して益田の名産「鴨嶋ハマグリ」について知り、海や海の生き物について興味をもち、ハマグリを育むための森～川～海のつながりについて重要性を確認する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1, 益田の海岸を巡り、ハマグリを学ぶ。 ・中須海岸（高津川側）にて見学 ・久城海岸	・外部講師の指導のもと海岸の様子、地形について学ぶ。
2, ビーチコーミングを行う。	・漂流物を観察する。 ・児童が拾った貝殻について、専門家に意見を求め貝殻について資料から情報を集める。 ・子どもたちが知っている貝殻や拾った貝殻を分別することでどんな貝殻が多いかなど気づきを全体に広める。 ・写真や動画で拾った貝殻や生き物を記録する。
3, 海岸清掃を行う。	・班ごとにゴミ袋を用意し、見つけたゴミを拾っていくことを伝える。 ・危険なゴミ（液体、注射針、刃物等）については事前に拾わないことを伝える。
4, ハマグリ観察を行う。	・海岸でハマグリを見つけ、見つけた貝をもとに専門家の話を聞き、特徴について学ぶ。
5, ふりかえり	・本時の活動の感想を伝え合い、次回の活動につなげる。

3. 今回の活動の自己評価

- ・益田の海岸の特徴や「鴨嶋ハマグリ」について学ぶ活動から、自然に目を向けハマグリが育ちやすい環境を保ちたいという気持ちから懸命にごみ拾いをする様子が見えた。
- ・海岸に漂流したものを通して、外国からのごみが多いことを知った。一方で専門家から、「じゃあ、外国にはどこの国のごみが漂流すると思う？」という質問から、国土や地形の学習を思い出し「日本？」と答えた児童も見られ、ゴミ問題が世界共通であることや私たちの生活にも関係があることに気が付いた。

4. 今後の課題

- ・定期的に活動が取り組める工夫。
- ・活動を通して、自分たちの生活に生かす。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

6. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

6-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

6-2. 本時の目標

- ・自然を守るための活動「森で海を救おう林業事業」を行う。
- ・専門家から話を聞き、植林の活動を通して自然のつながりを確認する。

6-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1, 森と海の関係やつながり、島根の林業について学ぶ。	・専門家からの話を聞き、森と海の関係についての話を聞く。
2, 植林方法の説明を聞く。	・専門家に実際にヒノキ・スギ・クヌギの苗木を見せてもらい、植え方を教わる。
3, 植林を行う。	・ペアになり、各自で植林する。
4, 植林を通して学んだことをふりかえる。	・学校に帰校後にふりかえりを行う。

7. 今回の活動の自己評価

- ・資料から見る植林（事前に教科書等で確認）と自分たちが行う植林では、実際に行うことの方が何倍も大変であることや難しさを感じる機会となり、「たった 1 本の木を植えるのにこんなに力を使うなんて…大変だからこそ森林を大事にしたい。」と感想を伝える児童もおり、改めて体験活動の大切さを感じた。

8. 今後の課題

- ・高学年を中心に緑を守る活動につなげていけるように委員会活動を通してつなげていきたい。

9. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

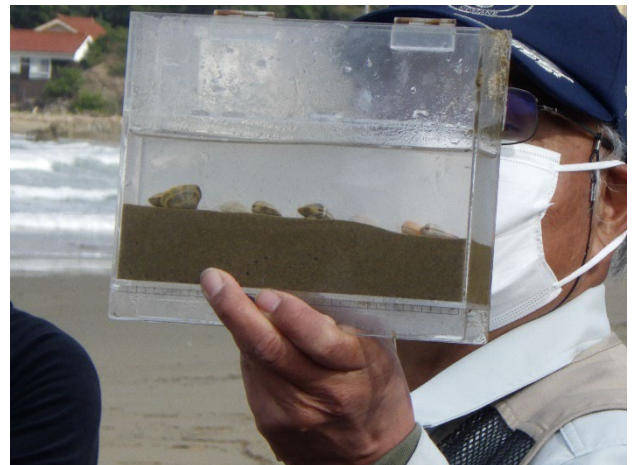
フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

11月 ハマグリ観察



2月 植林活動

